・ぶん文 Bun レビューは、手書き・PC 入力を問わず 200 字以上の記載をお願いいたします。
・原稿用紙 1 枚におさまり切らない場合は、複数毎ご利用ください。
・レビュー内容はお名前含め(ニックネーム可)館内掲示やホームページなどの WEB コンテンツとして活用させていただきます。
・レビュー対象は、一般図書・漫画・視聴覚資料と、ぶん文 Bun にある蔵書のすべてです。

楽しんだ資料の名前

『日本語のために』

「日本語のために」というタイトルが不思議で気になって手に取りました。

目次を見ると、般若心経の現代語訳や聖書の現代語訳が載っていました。そういえばちゃんと意味を知らないなぁと思って、この本を借りることに。なるほど、般若心経のあの部分にはそんな意味があったんですね。奥深いです。(気になる人はぜひ読んで!!)

中でも1番おもしろかったのは、P459「文法なんか嫌い!役に立つか」という斬新な見出しのところ。「日本語のために」っていう本なのに?おもしろそうです。辛辣なタイトルですが、内容は「私は」とか「私が」とかで使われる「は」と「が」についての解説。この一文字に、ついて考えたことがありますか?この一文字が含んでいるニュアンスが的確に解説されています。文章を書くのが少し上手になっていると思いました。

日本人なら自然と、かつ間違えずに使いこなしている一文字ですよね。この本には、この一文字が含んでいるニュアンスが的確に解説されています。文章を書くのが少し上手になるかもと思いました。

20 × 20

・レビュー者名:
・ぶん文 Bun ネーム(または匿名希望):ぽよ
・[1] 枚目

椎葉村図書館
ぶん文Bun

・ぶん文 Bun レビューは、手書き・PC 入力を問わず 200 字以上の記載をお願いいたします。
・原稿用紙 1 枚におさまり切らない場合は、複数毎ご利用ください。
・レビュー内容はお名前含め(ニックネーム可)館内掲示やホームページなどの WEB コンテンツとして活用させていただきます。
・レビュー対象は、一般図書・漫画・視聴覚資料と、ぶん文 Bun にある蔵書のすべてです。

楽しんだ資料の名前

『日本語のために』

もちろん読み飛ばした部分もありましたが、全体的に、これまで知らなかったことを知れた感が強く、大満足な一冊でした。

20 × 20

・レビュー者名：
・ぶん文 Bun ネーム(または匿名希望)：ぽよ

・[2] 枚目

椎葉村図書館
ぶん文Bun